

平成30年6月1日

栃木県教育委員会教育長 宇田貞夫 様

那須雪崩事故遺族・被害者の会

学校安全課長の個別訪問にかかる質問と要望

過日、各遺族あてに学校安全課長等が個別に訪問したいと打診がありました。訪問の趣旨は学校安全課が新しくできたので、そのあいさつということでした。2遺族は了承しましたが6遺族が断りました。遺族があいさつを受け入れなかった理由について、第2回の遺族・被害者の会において話し合いました。

遺族は、これまで様々な要望や意見を提出してきました。その中に再発防止策の遺族等への説明会実施がありますが、その要望は受け入れられていません。このように遺族の願いや思いがまだ受け入れられず、その回答もない中、一方的に個別に訪問を受けることに、不審と不快感を強く感じています。

遺族・被害者の会では、このことについて、以下のとおり質問と要望を提出しますので、ご多用のところとは思いますが、6月15日までにご回答をくださいますようお願い申し上げます。

記

質問

- 1 遺族、被害者の願いは、今回の雪崩事故のような高校生の山岳事故を絶対に起こさないことです。再発防止策について、被害者の立場から様々な要望を県教委関係各課にお願いしてきましたが、まだ、回答をいただけていないものがいくつもあります。そのことはご承知でしょうか。
- 2 今回の個別訪問あいさつは遺族のみであり、被害者の保護者は含まれていないと聞きました。被害者を除くのは、不自然であり、なぜそうするのが理解できません。遺族のみに説明することにした理由について教えてください。
- 3 遺族は、基本的に個別訪問を望んでいません。個別訪問を希望する場合は別ですが、個別訪問されることは、遺族にとって負担であります。体調不良になった方も何名かいます。悲しみの癒えない状況で県教委の方々を何名も受け入れることは、心の負担になってしまうのです。個別訪問を希望してないことや負担になっていることをご理解いただけますか。

要望

- 1 遺族、被害者のための再発防止策の説明会の実施の要望
今回、このような悲惨な雪崩事故が発生したことで、再発防止策の策定や危機管理の改善が求められている訳であり、この事故で犠牲になった8名の遺族や被害者は、県教委が進める再発防止策や危機管理改善策について、説明を受け、意見を述べることは当然の権利であると考えています。そのためには、一般公開のような機会ではなく、遺族、被害者のための再発防止策の説明会、危機管理の改善の説明会の実施を要望します。
遺族等の願いを受け入れた説明会を実施していただけるか、ご回答をお願いします。
- 2 学校安全課長の個別訪問によるあいさつへの要望
 - (1) 今回のあいさつに被害者も含めることを要望します。
 - (2) あいさつをするのであれば、私たちの意見や願いを聞く場にするよう要望します。
 - (3) 個別訪問でなくては目的が果たせない場合を除き、今後は、遺族の負担を考慮し、遺族、被害者を一堂に集めた形で行うよう要望します。上記3点について、そのようにしていただけるか、ご回答をお願いします。